

公園内で見られる植物

写真は9月28日(土)
自然観察会で見られた
植物です



アケビの実（アケビ科）

9月～10月に紫色に熟し裂開する。



コバノガマズミの実（スイカズラ科）

秋に真っ赤に熟す。酸っぱい。



ゴンズイの実 (ミツバウツギ科)

果皮は赤く熟すと裂開し、黒い光沢のある種子が1~2個顔を出す。



センブリ (リンドウ科)

全草に強い苦みがあり、苦味健胃薬としてよく知られる。



イチョウの実（イチョウ科）

銀杏（ギンナン）とよばれる。



タラノキの実（ウコギ科）

若芽は天ぷら、和え物、汁の実などにする。果実は黒紫色に熟す。



クサギの実（クマツヅラ科）

真紅の萼と藍色の果実のコントラストが美しい。



クリの実（ブナ科）

クリの実は昔から重要な山の幸。



アキグミの実（グミ科）

果実が秋に熟すからアキグミと呼ばれる。



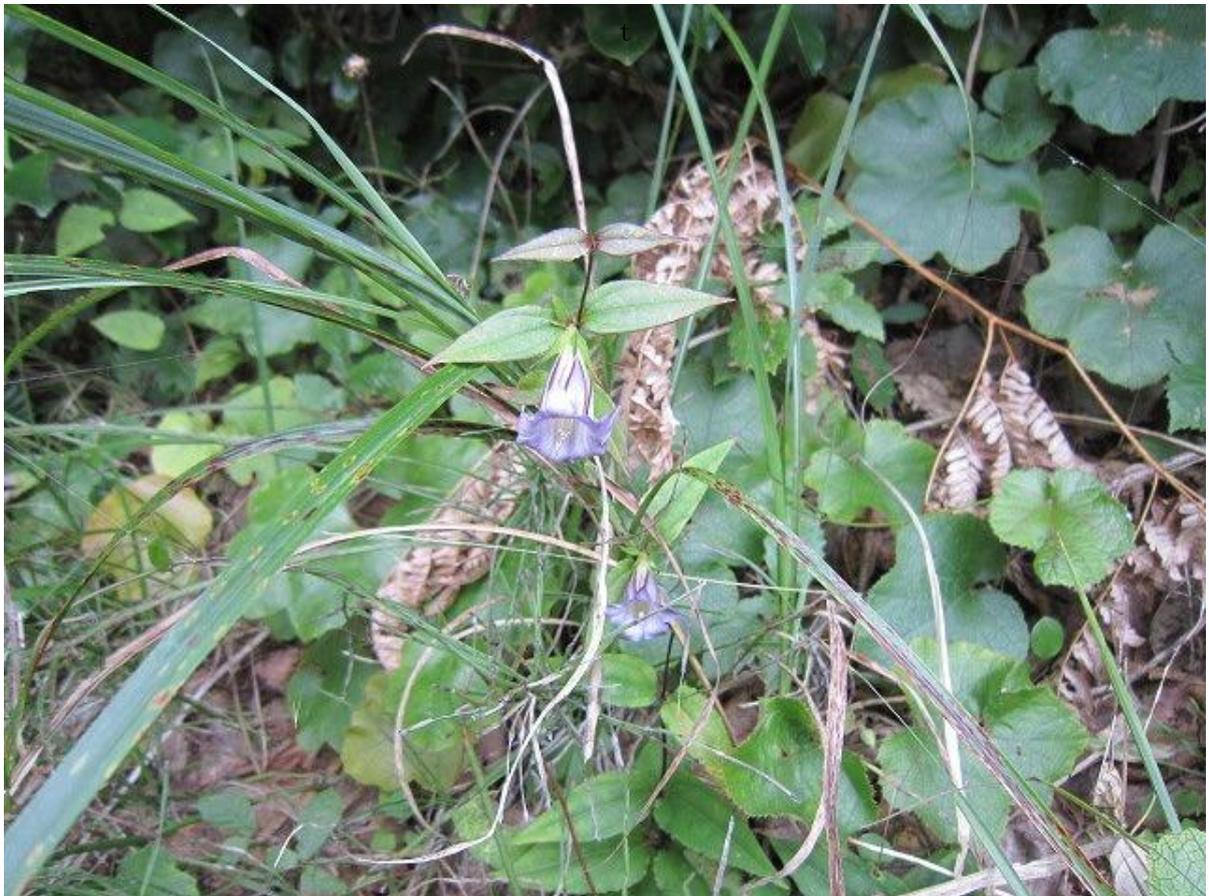
トリガタハンチョウヅル（キンポウゲ科）

白い長い毛があり、風で飛ばさせる。



ノササゲの花（マメ科）

萼の先端は斜めに切ったような形をしている。



ツルリンドウ（リンドウ科）

花冠は淡紫色。雄しべは5個、1個の雌しべをとり囲んでいる。